

# 「高低差」地形ウォーク 第4回

## 古代から特別の土地 芦屋

2023. 1. 19

<参加メンバー> 4人(男性2人、女性2人)

<天候> 晴れ

### <コースタイム>

阪急芦屋川発 9:50~10:30 芦屋の遺跡出土品展示室(旧芦屋市立三条小学校) 11:25~11:40 会下山遺跡(昼食) 12:30~城山~13:50 鷹尾山城跡~臼の石垣跡~15:10 芦屋神社境内古墳~16:00 阿保親王塚~16:20 大楠公戦碑~16:30 金津山古墳~打出小槌古墳推定地~16:45 阪神打出駅 約13Km

### <山行の概要>

芦屋といえば全国的に高級住宅地として知られているが、宅地や鉄道の開発により十分な調査もされないまま壊され地中に埋もれてしまった多くの遺跡が存在する。今回は六甲山南麓の尾根にある弥生時代の高地性集落「会下山遺跡」を訪ね当時の人々の生活の様子を思い浮かべ、古墳群を巡りながらそこに葬られた人物を想像し、戦国時代の山城跡ではその城の盛衰などを思う、タイムスリップ 数千年の時空を感じる一日になりました。(Gi)



高座の滝道を進む



会下山遺跡は左へ



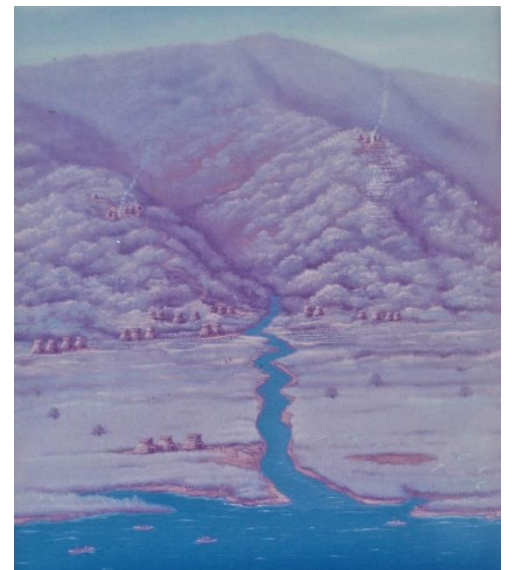
旧芦屋市立三条小学校。芦屋の遺跡出土品展示室は3Fにある。



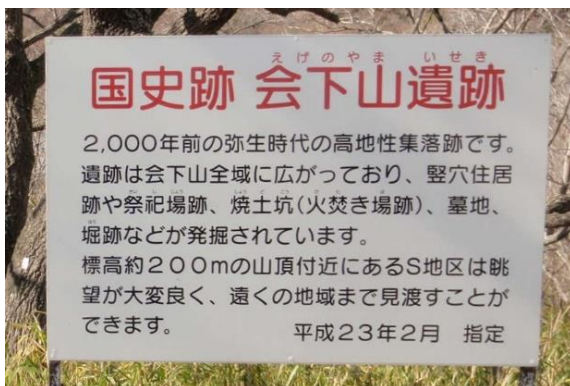
出土品が陳列ケースに並ぶ。学芸員の方から会下山遺跡など丁寧な説明あり。興味津々。



会下山遺跡入口



弥生時代の芦屋川付近想像図。会下山遺跡は左の尾根、鷹尾山城跡は右の尾根にある。



竪穴住居群が尾根に点在する。



復元された高床式倉庫

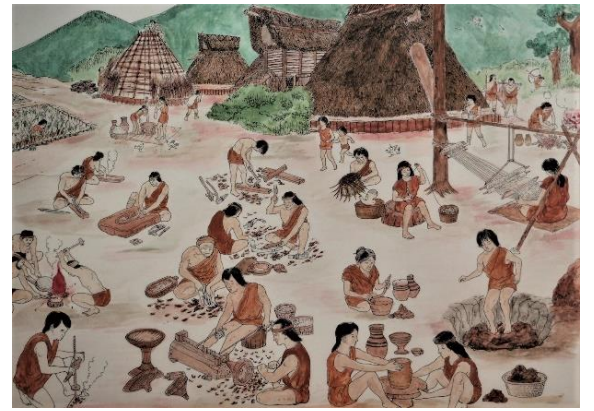




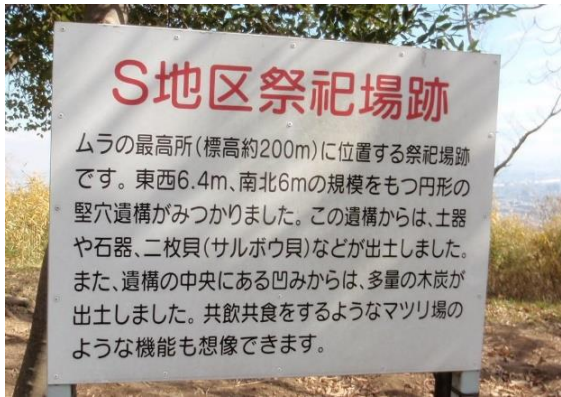
海や阪神間の街が見渡せて眺望の良い所にある。



C 地区



当時の想像図



祭祀場跡で昼食。日当たり、見晴らし良い。



城山鷹尾山への分岐



鷹尾山への道



鷹尾山山頂 272m



芦屋神社



芦屋神社境内古墳。いまは内部に神社がある珍しい古墳。

あしやしんじやけいだいこふん  
芦屋市指定文化財 芦屋神社境内古墳  
Ashiya Municipal Designated Cultural Property Burial Tomb in the Precincts of Ashiya-jinja Shrine

- 時代：古墳時代後期（6世紀末～7世紀初頭）
- 形状・構造：円墳・横穴式石室
- 規模：墳丘 直径 19.0m・高さ 3.5m  
石室 全長 10.4m・玄室長 3.6m・玄室幅 1.7m  
・玄室高 2.1m・羨道長 6.2m
- 指定年月日：平成28年2月19日

古墳内部（横穴式石室）の構造（概式図）

芦屋市内において唯一、横穴式石室が完存する古墳。本来、このあたりは塚前集落として多くの古墳があったが、今はこの古墳しか残っていない。現在は、弁天岩（芦屋川上流）で祀られていた水神の社となっており、玄室内には、後世の石祠が置かれている。（平成29年3月 芦屋市教育委員会）



阿保親王塚古墳。今は宮内庁管理で入れない。平城天皇の皇子で在原業平の父。



金津山古墳、前方後円墳の円墳だけが残る。周囲は住宅が取り囲んでおり柵で入れない。



打出小槌古墳推定地、今はマンションの一角に説明板が残るのみ。



打出小槌古墳の想像図、墳長 58m。前方後円墳で前方部が海に向かっていた。